



The smarter color reference

基本操作ガイド AdobeCameraRAW での基本操作



datacolor _____

■はじめに

SpyderCheckr は、異なる光源および他のカメラとの関係における 自分のカメラのカラーの正確度と一貫性を向上させること及び RAW 現像処理で簡単に使用できるカメラキャリブレーションを提供す ることを目的としています。



■ Spydercheckr ターゲット

SpyderCheckr は、底面に標準の三脚マウントがあります。これに より、高さと角度を柔軟に調整してマウントできます。ただし、 ターゲットをテーブルまたは棚に置くことも可能です。安定した 所では立てて置く事も可能です。

■ SpyderCheckr を照明する

SpyderCheckr をマウントするか、安定した場所に配置しそれを 45度の角度で照明します。反射板や拡散板を使用せず、離れたと ころから単一光源でターゲットを照明するのが理想的です。この 照明方法により、ターゲットのすべての部分が同一の光量とカラ ーを持つことになり、ターゲットの幅による光量の落ち込みと色 変化を減少できます。

SpyderCHECKR™ ■ SpyderCheckr を撮影する



ビューファインダーいっぱい にターゲットを入れず周辺の 余白を大きく取ってターゲッ トを撮影し、後でトリミング するのが最も良い方法です。

上辺または下辺が長い長方形 になっていたり、左右いずれ かが他方より高い場合は、カ メラがターゲットに対して真 っ直ぐに配置されていませ ん。その場合は、三脚を使用 するのが良いでしょう。また RAW 形式で撮影することが重 要です。

■ Spydercheckr ソフトウエアのインス トールとアクティベーション

製品に同梱されている CD をご使用されている PC にインストー ルします。シリアル番号はパッケージ内の CD の上に記載されて います。ソフトウェアはウェブベースのアクティベーションプ ロセスを採用しているので、インターネットに接続されている コンピューターから簡単にアクティベーションできます。

SpyderCHECKR[™]



■ターゲットショットを開く Spydercheckrを撮影したターゲット画像を ACR で開きます



■ターゲットショットを調整する

次に ACR でグレーバランス/ホワイトバランスをとるために 20% グレーパッチ(E2)をホワイトバランス選択ツールでクリックし ます。









次に、ホワイトパッチ(E1)の RGB 値を見ます。露光量スライダ を調整してホワイトパッチ(E1)の RGB が約 230 となる様に調整 します。数値はあくまでも目安になります。

6	Beyleroscor A	i «
-13	Patrices	
	5750 -13	5750 -13



次にブラック(E6)をチェッ クします。黒レベルスライダ ーを調整してブラックの RGB を約10に設定します。数値 はあくまでも目安になりま す。



C: 10 f/5 1/125 ₽ C: 10 F/5 1/125 ₽	}
8: 11 ISO 100 85 mm	
ホワイトパランス: (カスタム	
色温度	5750
色かぶり補正	-13
自動補正 初期設定 露光量	-0.50
白とび軽減	0
補助光効果	0
(LIN)	41
明るさ	+50
321-521-	+25



SpyderCHECKR[™] ■ターゲット画像を切り抜く



ACR で読み込んだ Spyder checkr ターゲット画像を切り抜 きツールを使ってトリミングします。切り抜く際には、パ ッチ領域の外側にある4つの白点の位置で切り取ります。 切り抜きツールの回転機能を利用してターゲット画像を真 っ直ぐに配置します。

■ターゲットを保存する

トリミングされた画像をデスクトップまたは他の適当な 場所に TIFF ファイルとして保存します。

保存先:「新しいフォルダに保存			保存 キャンセル
(PANY EASTING)			
ファイルの名前			
위 : Spydercheckr.tif			
Spydercheck	+	+	
	+	•	
シリアルの開始勝号:			
マライル拡張子: tif	D		
ファイル形式 : [THFF	(1)		

Spyder CHECKR[™]



■ SpyderCheckr アプリケーションを起動 する

Spydercheckr アプリケーションを起動し保存したターゲット ファイルを SpyderCheckr にドラッグしてインポートします (Spydercheckr の File メニューから [画像を開く] コマンドを使 用することもできます)。

0	SpyderCheckr 1.1	_
SpyderCHE	CKR*	datacolor
	カメラ ユーティリテ	~#7
	カメラ ユーティリティを使用してカメラをキャリプレートする	
	ALL BUICLE FLOOT H	
	Lightroom そ使用: "SpyderCheckr™ で離集";	
	ファイル:開くコマンド	
	または、ドラッグ&ドロップを使用して	
	SovderCheckr™ ターゲットフォトをプレビュー エリアにインボー	
		87





■ターゲットショットを処理する



適切に撮影しトリミングした場合は、正方形はターゲット ショッ トのパッチ内に正しく配置されているはずです。そうでない場合 は、画像領域の任意のエッジをドラッグして領域を調整すること ができます。正方形内部のカラーは、パッチのカラーよりも少し 彩度が低いものとなります。パッチとサンプルカラーが異なった 色になっている場合は、ターゲット画像が上下逆ではないか、確 認してください。

ターゲット画像の位置と向きを確認したら AdobeCameraRaw の場合 は ACR に保存を選択し[キャリブレーションを保存...] ボタン をクリックします。キャリブレーション修正が計算され新しいキ ャリブレーションプリセットに名前を付けるよう指示が表示され ます。名前にはカメラの名前や使用した光源やレンズなどのデー タも含めるとよいかもしれません。

SpyderCHECKR[™]



■ SpyderCheckr のモード

SpyderCheckr にはモード選択のための3つのポップダウンリスト があります。



色測:測色モードは、最もリテラルな結果を提供します。アート ワークや製品カラーを再現したいときに最適なモードです。

彩度: 彩度モードは、多くのタイプの画像に対して一般的に心地 よい結果を提供します。

ポートレート:ポートレートの写真処理を簡単にするために、肌 色の彩度を低減します。

これらのモードの効果は微妙なもので、画像によっては違いが分からない場合があります。



datacolor Because Calas Matters

■新しいキャリブレーションを使用する

ACR を再起動し (ACR を一旦終了し再起動してからでないとキャリブレーションデータは使用できません)、同じカメラまたは同じカメラとレンズの組み合わせの画像ショットを選択します。

CameraRaw ダイアログボックスで CameraRaw 設定メニュー:::』(右側にあるポップダウンメニュー)の[プリセットの適用]から、 プリセットを適用します。キャリブレーション データを適用した 結果の変化は微妙です。カメラのネイティブカラーが良ければ良 いほど、キャリブレーションの効果は少なくなります。さまざま なタイプの多くの画像に対して結果を検討し、満足なものが得ら れたら、複数の画像を選択しこのプリセットを選択することでた だちに画像に適用できます。ACR の場合、複数画像への設定の適 用は AdobeBridge で行います。

HSL	/ グレースケール		
[] 色相 彩度 輝原	」グレースケール I	現在の画像用の設定 Camera Raw 初期設定 前回と同じ設定 カスタム設定 ✓ "5dmkllA23cSat"	
レッド	初期設定		
T Charles	5dmkllA23cCOI	【 フリセットを適用 】 ▶	
オレンジ	5dmkllA23cPort 5dmkllA23cSat	読み込んだ設定を消去	
グリーン	0	設定を XMP に書き出し	
	0	DNG ブレピューを更新	
アクア	0		
ブルー	0	設定の読み込み 設定を保存	
パープル	0	新規 Camera Raw 初期設定にする	
マゼンタ	0	Camera Raw 初期設定に戻す	



■キャリブレーションプリセットを調整 する



SpyderCheckrのカラーキャリブレーション調整はACRの色相、彩度、 明るさに表示されます。これにより、ユーザーはキャリブレーションに対して調整を簡単に行ことができます。





■ SpyderCube と一緒に SpyderCheckr を使用する

SpyderCheckr は上部に SpyderCube を取り付ける事ができます。 SpyderCube は光環境に応じた調整(白色点、露光量、黒レベルなど) に最適です。SpyderCube から得られた調整値は SpyderCheckr の色調整 プリセットと掛け合わせて使用することができ、より精度の高いプリ セットが作成できます。



